

志津川湾での コクガン調査から 見えてきたこと

震災前後で行動に大きな変化が？...

2021.22 [18:30 開場]
(木) 19:00-20:30

参加費 入場無料 会場 南三陸町生涯学習センター
(第一研修室)

志津川湾の冬のシンボルである渡り鳥「コクガン」。

南三陸ネイチャーセンター友の会では、南三陸町の委託により2016年度から、南三陸町域に渡来するコクガンの数とその生態を調査してきました。それらの記録を、志津川愛鳥会OBや、日本野鳥の会・宮城県支部による、過去の記録と比較することにより、震災前後で渡来数や環境利用に大きな変化があったことが見えてきました。

コクガンたちはあの大災害をいかに乗り越えたのか？

その驚くべき適応力をご紹介します。

講師

鈴木 卓也

南三陸ネイチャーセンター友の会
理事

南三陸町の清水浜生まれ。育ち。志津川小学校 4 年。志津川愛鳥会に入会して 10 年以上に渡って野鳥を中心に故郷の自然に親しんでいます。南三陸町文化財保護委員、町環境審議会委員。

